

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成30年度第1回 第1分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成30年9月28日（金） 午後1時30分～午後4時30分
場所	江南市役所 2階 大会議室（北）
出席者	市民委員 小倉 勲夫、田中 光晴、堀場 敏之、望月 晴夫、岩井 喜美子、林本 剛幸
	市職員 大岩 直文、貝瀬 隆志、山田 順一、菱川 秀之、阿部 一郎、斉木 寿男（代理） 高島 勝則、谷 宣夫
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり会議について 2. まちづくり評価の結果について 3. その他（第2回の会議日程について）
資料	資料1 江南市まちづくり会議委員名簿（平成30年度） 資料2 今年度（平成30年度）のまちづくり評価について 資料3 江南市戦略計画達成状況報告書【中期計画期間（平成23年度～平成25年度）】 資料4 まちづくり評価シートの確認方法について 資料5 まちづくり評価【I 生活環境、産業分野】

◆ 会議結果 ◆

- ・会議の開催にあたり、市長よりあいさつがありました。

1. まちづくり会議について

- ・まちづくり会議について、資料2及び4に基づき、秘書政策課主幹、企画グループリーダーより説明がありました。

2. まちづくり評価の結果について

〔柱1〕 安心・安全な地域づくり

- ・資料5に基づき、委員（防災安全課長）より説明がありました。

〔全体目標〕 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。

- ・「全体目標に対するまちづくり評価」の文中、“現在策定中の「江南市業務継続計画」を踏まえ、”とあるところを、“「江南市業務継続計画」を踏まえ、”と修正する旨の説明がありました。

〔個別目標①〕 災害への備えが行われている

- ・成果目標の目標値の妥当性はどのように検証されているかという質問があり、基本計画の改訂に合わせて市民満足度調査を実施し、実績値を把握した上で、市民会議において、後期計画期間（平成26～29年度）の目標値を設定しているとの説明がありました。

〔柱2〕 消防・救急体制の充実

- ・資料5に基づき、委員（消防総務課長、消防予防課長、消防署長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 消防・救急体制が充実している

- ・救急救命士について、有資格者数と運用者数に違いがあるのはどうしてかとの質問があり、有資格者数には国家試験に合格した有資格者をカウントし、運用者数には実際に救急車に配備されている職員数を

カウントしているため、数値に違いがあるとの説明がありました。

- ・救急救命士有資格者数の実績値は、運用者数の目標値を超えているので、有資格者を配備すれば達成率は100%を超えるはずだが、曇りマークとなっている理由があるのかという質問があり、消防には火災・救急・救助の3種類の業務があり、年齢や経験年数を考慮した人員配置を行うと100%にならない現状があるとの説明がありました。
- ・若手職員の救急救命士の資格取得に向けて、積極的に取り組んでほしいとの意見がありました。

〔個別目標③〕救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

- ・応急手当講習の市内14校の小中学生の受講について、各校の目標値の有無や内訳について質問があり、内訳は全小学校10校と中学校は古知野中、布袋中、西部中、滝中の4校で、各校に目標値があるわけではなく、各校からの要請に基づき講習を実施しているとの説明がありました。
- ・高校や短大での講習の実績はあるかとの質問があり、高校でも短大でも講習実績があるとの回答がありました。

〔柱3〕快適で便利な日常生活の確保

- ・資料5に基づき、委員（市民サービス課長）より説明がありました。

〔個別目標③〕市民の足が確保できている

- ・いこまいCARを電話予約しても、決まった時間に来てもらえないという苦情を耳にする。成果指標は晴れマークとなっているが、本当にこれだけの利用実績があるのか疑問を感じるという質問があり、いこまいCAR予約便は、前日予約で運用しているため、交通渋滞等のトラブルがない限りは予約時間に到着しているが、時折、予約者本人の予約時間の認識誤り等もあり、そういった事も起きているとの説明がありました。
- ・いこまいCARのニーズと配車状況のバランスについて大丈夫かとの質問があり、ニーズは高まっていると感じているが、現在、60台程度で運用しているが、不足は生じていないとの説明がありました。
- ・85歳以上はタクシーの基本料金が助成されるが、いこまいCARとどちらが得なのかという話を聞くが、2つのサービスが存在しているのかという質問があり、それぞれ高齢者施策と公共交通施策ということで2つのサービスが存在しているが、どちらかのサービスを受けるか選択する必要があり、重複して利用することはできない。また、これらの行政サービスも一本化するなどの検討も必要だと感じているとの説明がありました。

〔柱4〕生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興

- ・資料5に基づき、委員（商工観光課長、農政課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕魅力ある商工業の成長により、活気のある地域社会になっている

- ・江南駅前の商店街はシャッターが閉まった店が多いが、市としては商店街の再興はあきらめているのかという質問があり、現在も商店街に対する事業費補助などの支援は行っているが、市としてできることは限られており、社会情勢やまちの形態などの変化により、消費者が大型店舗等に流れてしまっているのは止められないため、市民一人一人が地元商店街を利用しようという雰囲気醸成していくことも重要な要因であると感じているという説明がありました。
- ・実際、商店街では後継者不足が問題となっているとの意見がありました。

〔個別目標③〕地域に雇用の場が確保され、いきいきと働いている

- ・ハローワークの出張所が市役所にあることを知っている市民が少ないと思うので、もっと積極的にPRしてはどうかという意見がありました。

〔個別目標④〕農業用施設が常時利用でき、農業従事者が安心して農業に従事している

- ・認定農業者はどういった人を指すのかという質問があり、主に農業に専従しており、農業で生計を立てている農業者で、認定を受けると農業用施設や設備の整備の際に、低金利で融資を受けることができた、農地を優先的に借り受けることができるなどのメリットがあるという説明がありました。
- ・認定農業者は減少傾向にあるが、やはり農業者全体も減少傾向にあるのかという質問があり、5年毎に更新があり、前回の更新時に高齢化や農業からの離職による理由で11人減少しましたが、若い世代の新規就農者の新規認定が1人あったため、実績値は10人減の20人となりましたとの説明がありました。

【柱5】自然と調和した快適な生活環境の確保

- ・資料5に基づき、委員（環境課長）より説明がありました。
- ・質問はありませんでした。

【柱6】ごみ減量と適切な処理の推進

- ・資料5に基づき、委員（環境課長）より説明がありました。
- ・質問はありませんでした。

3. その他（第2回の会議日程について）

- ・議事がすべて終了したため、第2回の会議は開催しない旨、事務局より説明がありました。
- ・12月26日に開催予定の全体会議について、事務局より説明がありました。